

高瀬文淵 （高瀬） 評論家、小説家。文久四年二月十日安房國生れ、昭和十五年一月二十六日歿（六四—九四）。本名黒川安治。筆名のほろ、たか瀬、文字淵、文淵、文淵居士、文淵逸人、梅の崖のほろ、梅月小史、湯島隠居、蕙梅月、黒川文淵等。明治十四年上巻師範學校卒。富津小學校校長となるも、のち上京して文筆生活。一及寫實主義の立場で〈浪漫的理想派〉として知られ、森鷗外、田代嶺雲等と論争するほど活躍。昭和五年日本文化協會を創す。

著書『詩篇名集』（附録文藝意見）（明治二十六年一月七日春陽堂）、

『自傳の経緯及規範』（黒川文淵名、昭和九年十一月二十一日日本凡社）等。